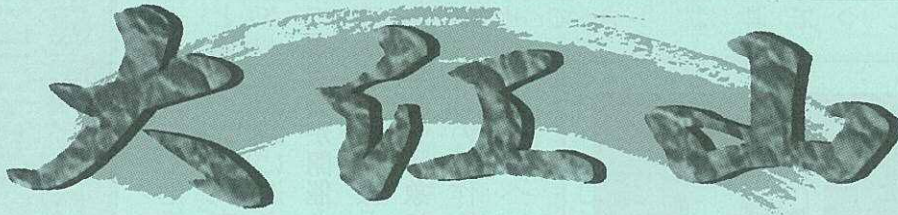


コミュニティ協議会広報誌



No.15号

発行人：熊倉宗衛

新潟市江口3220-1

平成26年2月発行

○主な活動○

大江山地区コミュニティ協議会の二十五年度の主な活動は次のようになっています。

四月～ 大江山地域の茶の間

(大江山荘・大淵荘で隔月に開催)

六月 広報誌第十四号の発行

七月 区長懇談会の開催

八月 ところと健康づくりの講演会の開催

十月 合同防災訓練の実施

大江山縄文市の開催

十二月 区づくりビジョンまちづくり計画への意見要望のとりまとめ

二月

二月 広報誌十五号の発行

二月・三月

大江山のお茶の間落語口演

(大江山荘・大淵荘)



○区長懇談会の開催○

二十五年七月二十三日に当協議会と江南区長との懇談会が開催されました。

- 一 自治会で除雪を行っている道路を市の除雪道路として欲しい。
- 二 防犯灯の維持管理費を市の負担として欲しい。
- 三 市道三号線に道路照明灯を増設して欲しい。
- 四 活動拠点施設の建設について次期五カ年計画に組み入れて欲しい。

この四点を中心として、意見交換・要望を行いました。



○防災訓練○

十月六日(日)に丸山小学校で行われた訓練には自主防災会や消防団など約五百人が参加。応急手当や救出救護訓練、消火器とバケツリレーによる消火訓練等を行いました。

また、消防団の放水訓練、降雨体験車での豪雨体験なども行われ参加者はいざ災害が起きたときの知識や心構えを改めて確認していました。



健康づくりの講演会

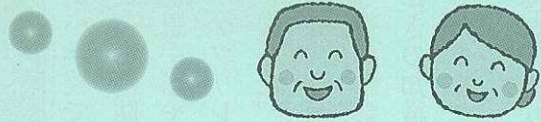
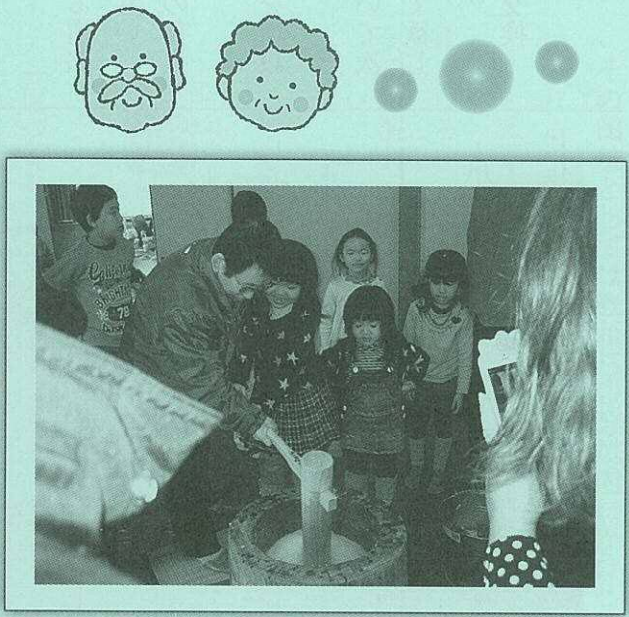
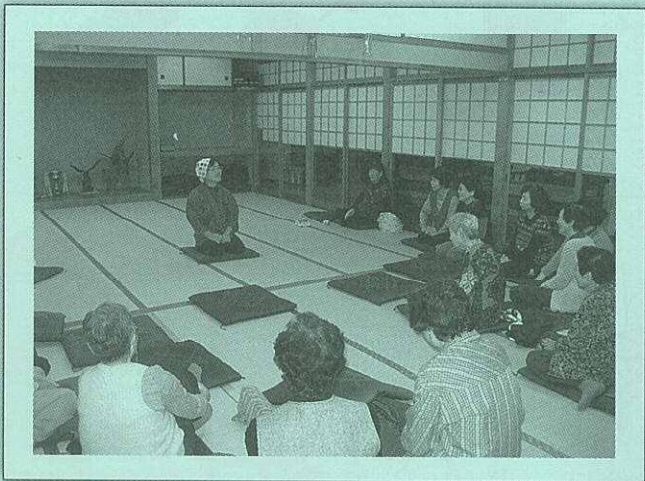
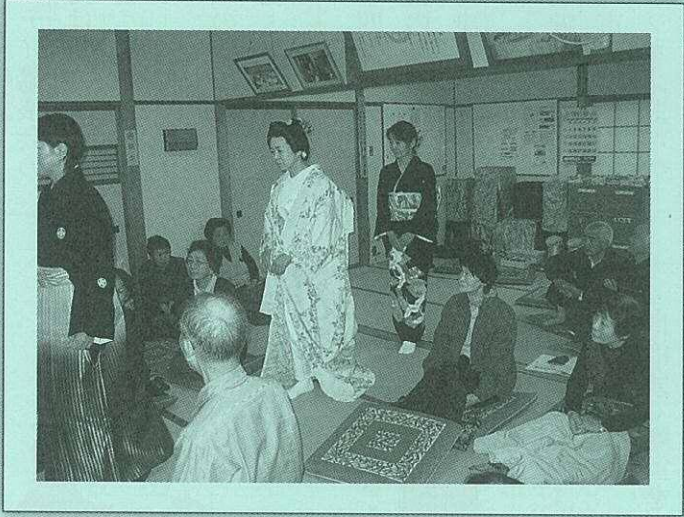
八月三日、教育文化部主催「あなたは大切な人」と題して大江山在住のエッセイスト藤田市男さんを講師に迎え、大江山環境改善センターで講演会が開催されました。藤田さんは年に四十回ほど講演しているとのことでしたが、小中学校を対象にした死なないでキャンペンや自らの手作り絵本「ちいさな手」「たいせつなあなたへ」などを中心としてお話をいただきました。

参加者は熱心に耳を傾けて聞き入っていました。



地域の茶の間

今年度は新しく末広座による「語り劇と昔話」がレパートリーとして増えました。四月の「笑いヨガ」から始まり「日帰り小旅行」語り部サークルの「昔話」発足当時から恒例である「餅つき大会」そして最後は二月、三月の「落語口演」で年間行事を締めくくる予定です。



○区づくりビジョン
まちづくり計画への
意見要望

江南区から当コミ協に対して次のような話がありました。

- ・平成二十七年度からの「区づくりビジョンまちづくり計画」を作成するにあたり、地域の意見・要望を踏まえて作成したい。
- ・コミ協で大江山地域の意見要望について取りまとめをお願いしたい。

これを受けて当コミ協では理事会で協議のうえ、十二月中旬から一月中旬にかけて会員の皆様から意見要望をおききし、取りまとめた結果を区役所へ提出いたしました。

これらの意見要望が今後のビジョンや計画に反映されるよう注視するとともにコミ協としても今後の活動に生かすよう努めてまいります。その概要は下表のようになっていきます。

分野別	概要
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ○地域公共交通のさらなる充実と、高齢者や障害者など交通弱者に配慮した地域を循環するバス等のシステムを検討して欲しい。 ○地域ニーズを踏まえ大江山地域にとって最適な公共交通のしくみを検討し、自律的な運営へ展開する。 ○小型バス（スニーカーと呼ばれている）の運行をお願いしたい。
地域福祉	<ul style="list-style-type: none"> ○住み慣れた地域で元気に暮らし続けるため、大江山地区における地域包括ケアシステムの実現に向けて取り組んで欲しい。 ○地域の包括的支援(住まい・医療・介護・予防・生活支援等)があると安心できる。 ○健康体操（ウォーキング、ヨガ、筋トレ、ストレッチ、ミュージック体操など）・食生活教室（調理実習・研修）の開催
安全安心	<ul style="list-style-type: none"> ○安全安心なまちづくりに向けて、河川の氾濫対策や災害時の情報提供システムを充実するとともに、夜間の交通安全、防犯対策のため道路照明灯の設置拡大を進めて欲しい。 ○除雪について一般生活道路の全てを新潟市で実施して欲しい。また、地域負担なしでLED化を進めて欲しい。
地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> ○大江山地域のまちづくりビジョンの策定に向けて行政の参画と支援をお願いしたい。 ○地域コミュニティ活動活性化に向けた支援の充実と、活動の拠点となる施設の整備を進めて欲しい。 ○旧大淵小学校グラウンド跡地でサッカー、野球などに利用し他地区との交流を深める。 ○コミュニティ活動の拠点として各学校区に活動の拠点となる分室又は支部となる建物を作って欲しい。
道路・公園 その他施設	<ul style="list-style-type: none"> ○大江山地区の地域資源である「すご堀桜並木」の道路歩道整備を進め、潤いの空間の創出を図るとともに、市場と連携しながら交流人口の拡大を図る施策を展開して欲しい。 ○大江山荘の設備更新 ○ターミナルケア施設（ホスピス）の誘致
教育	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育と地域社会との連携

○ 大江山縄文市 ○

今回で七回目を数える大江山縄文市が、天候に恵まれた十月十四日に笹山地区の大江山公園で行われました。

約千二百名の加者は各種縄文体験コーナー、地域の特産物コーナー、総踊り、大抽選会等を楽しんでいました。



○ 地域包括ケアシステム ○

地域包括システムという言葉が最近耳にしませんか。新聞、ラジオ、テレビ等で良く聞かれる言葉です。また、コミ協で区づくりビジョンへの意見要望をとりまとめた中でもいくつか意見として出されておりました。

超高齢化社会の到来を迎え、「地域包括ケアシステムの構築」が求められています。

地域包括ケアシステムとは、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしが続けられるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域の体制のことを指します。

自立した日常生活を営む事ができるようにするため、

- 一 保健医療サービス・福祉サービス
- 一 要介護状態となることの予防または要介護状態の軽減若しくは悪化の防止
- 一 地域における自立した生活を支援等に関連付けて推進し日常生活の場で適切に行われるような体制を作り上げるといふものです。

その圏域としては概ね三〇分以内にかけてけられる中学校区が基本とされています。

当コミ協も参画した(仮称)「大江山地区におけるケアシステムのありかた検討会」による講演会もさきごろ開かれました。

編集後記

「区づくりビジョンまちづくり計画」に対して寄せられた意見要望について、その具体化に向けた取り組みを検討する必要があります。

